

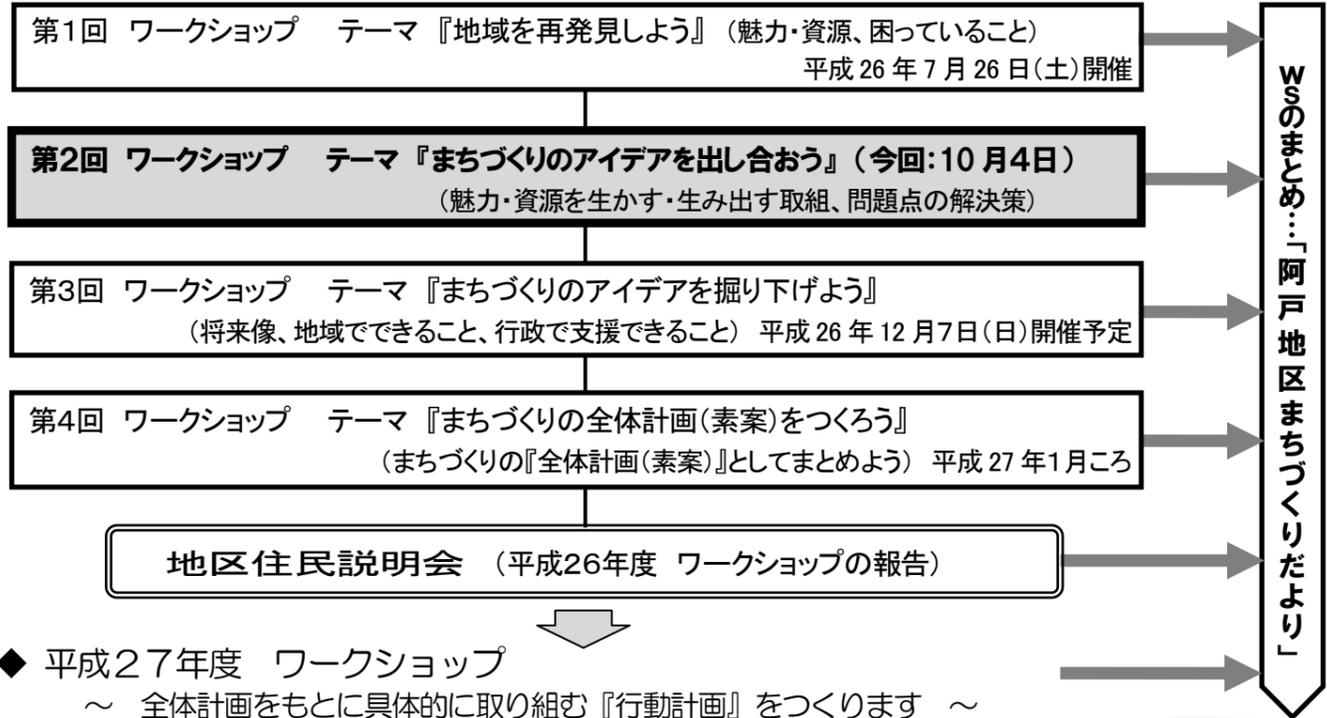
阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』の作成（ワークショップ）の流れ（予定）

阿戸地区がより住みよく、いきいきとしたまちとして持続していけるよう、阿戸地区で活動する団体の皆さま（別掲）に参加していただき、地域住民自らが参加し実施できる、具体的で実行性の高い、阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』の作成に向け、ワークショップを開催しています。

＜阿戸地区ワークショップ参加団体＞

阿戸町連合町内会	阿戸町女性会
阿戸地区青少年健全育成協議会	阿戸小学校PTA
阿戸学区体育協会	あーと村運営協議会
阿戸中学校PTA	阿戸町商工会
阿戸町農事研究会	NPOあ〜と倶楽部
めだかクラブ	阿戸町ふるさとおこし
阿戸幼稚園・保育園	社会福祉法人あと会
子ども会	留守家庭子ども会保護者会
阿戸・矢野地域包括支援センター	阿戸小学校
阿戸中学校生徒代表	

◆ 平成26年度 ワークショップ  
～ まちづくりの『全体計画（素案）』をつくります ～



WSのまとめ「阿戸地区まちづくりだより」

**具体的な行動**（可能な取組は平成27年度からスタートすることも）



**まちづくりに関する意見を募集しています。**

まちづくりについて、日頃お感じのこと（良いところ、困っていること等々）やアイデア（例えば、地域でこんなことをしたい等々）、この「まちづくりだより」を読んでのご意見、ご感想などをお聞かせください。ワークショップで活用させていただきます。

＜ご意見・ご感想の提出方法＞

- 意見箱での受付…阿戸公民館、阿戸出張所、阿戸福祉センターの3か所に意見箱を設置しています。
- ファックス・メールでの受付…ファックス、メールを、地域起こし推進課宛に直接お送りください。

※ お寄せいただいたご意見は、ワークショップやまちづくりだよりの中で公開させていただく場合があります。なお、ご意見等は無記名でかまいません。また、個人情報等の取り扱いには十分注意し、個人が特定できるような内容では公開しません。

**問い合わせ・連絡先**  
安芸区役所 市民部 地域起こし推進課（担当：松原、来栖）  
電話：(082) 821-4905 FAX：(082) 822-8069 E-mail：ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

# 阿戸地区まちづくりだより

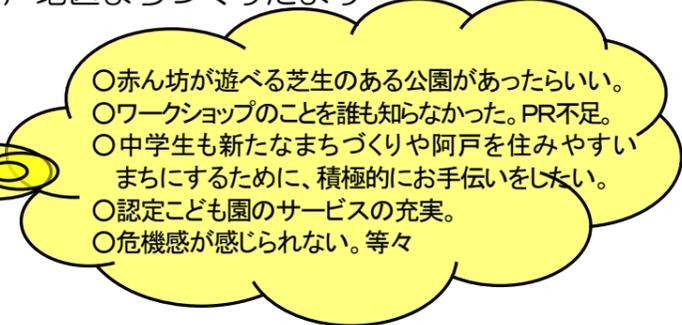
## ～阿戸地区新たなまちづくりプランの作成に向けたワークショップについて～ vol. 2

平成26年10月 発行：安芸区地域起こし推進課

### 第2回ワークショップは『まちづくりのアイデアを出し合おう』をテーマに進めました。

ここでは、10月4日（土）に開催しました第2回ワークショップ\*のあらましを紹介いたします。なお、第1回については「阿戸地区まちづくりだより vol.1」にまとめています。

最初に、ワークショップのメンバーが聞き取った参加者以外の住民のまちづくりやワークショップに関する思いなどを紹介していただきました。



続いて、第1回ワークショップを受け、「阿戸地区の“強み”魅力・資源を生かすこと、“弱み”問題点・困っている点を解決すること」についての具体的なアイデアを出していただきました。そして、それらアイデアの中で重要度が高いと思われるアイデアについて、「時間・労力」と「お金（資金・経費）」のかけ合わせを想定して分類しました。

→【2、3頁をご覧ください】

**第2回ワークショップのプログラム等（要点）**

日時：10月4日（土） 14:00～16:00  
会場：阿戸公民館  
参加者：住民の皆さん16人、安芸区5人、進行役2人

- はじめに
  - 住民の声の紹介、切実な思いなどの意見
  - 前回の振り返り、今日のプログラムの説明
- まちづくりのアイデア（ソフト、ハード）
  - “強み”魅力・資源を生かす
  - “弱み”困っていること・問題点を解決する
- ↓
- 重要度・優先度の検討
- 取組（アイデア）の難易度の検討
  - ・時間（短期～長期）
  - ・お金（あまりかからない～多くかかる）
- 全体会
  - 班ごとの発表
  - まとめ、次回（第3回）について
  - 事務連絡・終了



中学生の発言から、未来への希望・期待が高まります



参加者の皆さんが知恵を絞り、フセンに意見を記入

**＜※ワークショップとは＞**  
参加者が自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見・アイデアをまとめ、計画や提案などをつくること、またはその集まりのことをいいます。

第2回ワークショップのテーマ『まちづくりのアイデアを出し合おう』…多彩なまちづくりのアイデアが出されました。

“強み”魅力・資源を生かす

“弱み”困っていること・課題点を解決する

■地産地消の推進と食の魅力・特産品づくり

- 地域で支える魅力いっぱいの農家レストランの開設：若い人が参加し高齢者をサポート
- 阿戸の食材を生かした料理（メニュー）づくり
- 安全・安心で美味しい農産物づくり：遊休農地の活用、グループホームでの農作物の栽培（活用）
- 定期的な『市』の開催・販売の場の確保・充実：あーと村の活用、平日も販売する場の確保
- 農産物の加工：トマトソースなどの加工品づくり、加工の場の確保
- 有害鳥獣の捕獲と活用→阿戸のジビエ、シシ肉の販売・加工（ハム、燻製） など

■自然・田園を生かした体験と田舎暮らしの魅力アップ

- 田舎体験・観光のできる環境や仕組みづくり
- 田舎暮らしの支援（Uターン）：空き家バンクの創設  
空き家の活用（家庭菜園付住宅）
- 耕作放棄地を花畑として活用
- 阿戸の「景観10選」（～100選）の選定とそれをPRする事業の実施
- ホテルの里・名水の里づくり
- 伝統行事・年中行事などの継承と活用 など



■阿戸の『達人』～人材の発掘・活用～

- 阿戸の『達人』の発見・『マイスター』の認定、活用（そば打ち名人、野菜づくり名人・・・）
- アーツ・アンド・クラフツ（あーと+手仕事）の里づくり（土・竹・木・食材など地域資源の活用） など

■保育園の跡地などの活用と公共空間づくり

- 認定こども園化に伴う保育園の跡地及び建物（調理室など）の活用
- 福祉センターの風呂の活用
- 自然を生かした遊び場、川の遊び場づくり（福祉センターの前）
- 安全な遊び場の確保（赤ちゃんがハイハイできる芝のある公園など）
- 交流の場：高齢者と子どもたち、障害者施設との交流（サロン） など



■あーと村、集客施設との連携・活用

- 年間約3,000人が訪れるあーと村と地域との連携・活用
- 多くの人が訪れる店と地域が連携し、地域産品の販売等の実施
- あーと村への地域住民の参加の推進
- あーと村に子どもたちが楽しめる場を確保・整備：アスレチック、キャンプ場、ツリーハウス、隠れ家 など

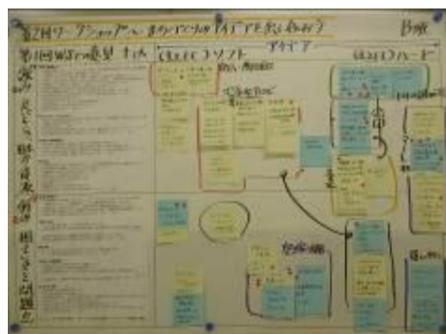
■阿戸のマップづくりとPR、情報通信技術の活用

- マップづくり（良いところ、魅力、資源、イベントなど）
- 阿戸のPR活動（WEBページ、パンフレット作成など）  
〔地域資源、良いところ（健康面、自然、子育てにやさしいまち…など）を発信〕
- 阿戸育ちの若者による阿戸のPR『阿戸だより・あと通信』
- ネットの使えるボランティア（中学生等の高齢者の支援…）の活用 など



■阿戸の便利さアップ～交通、買い物、働く場、医療・福祉～

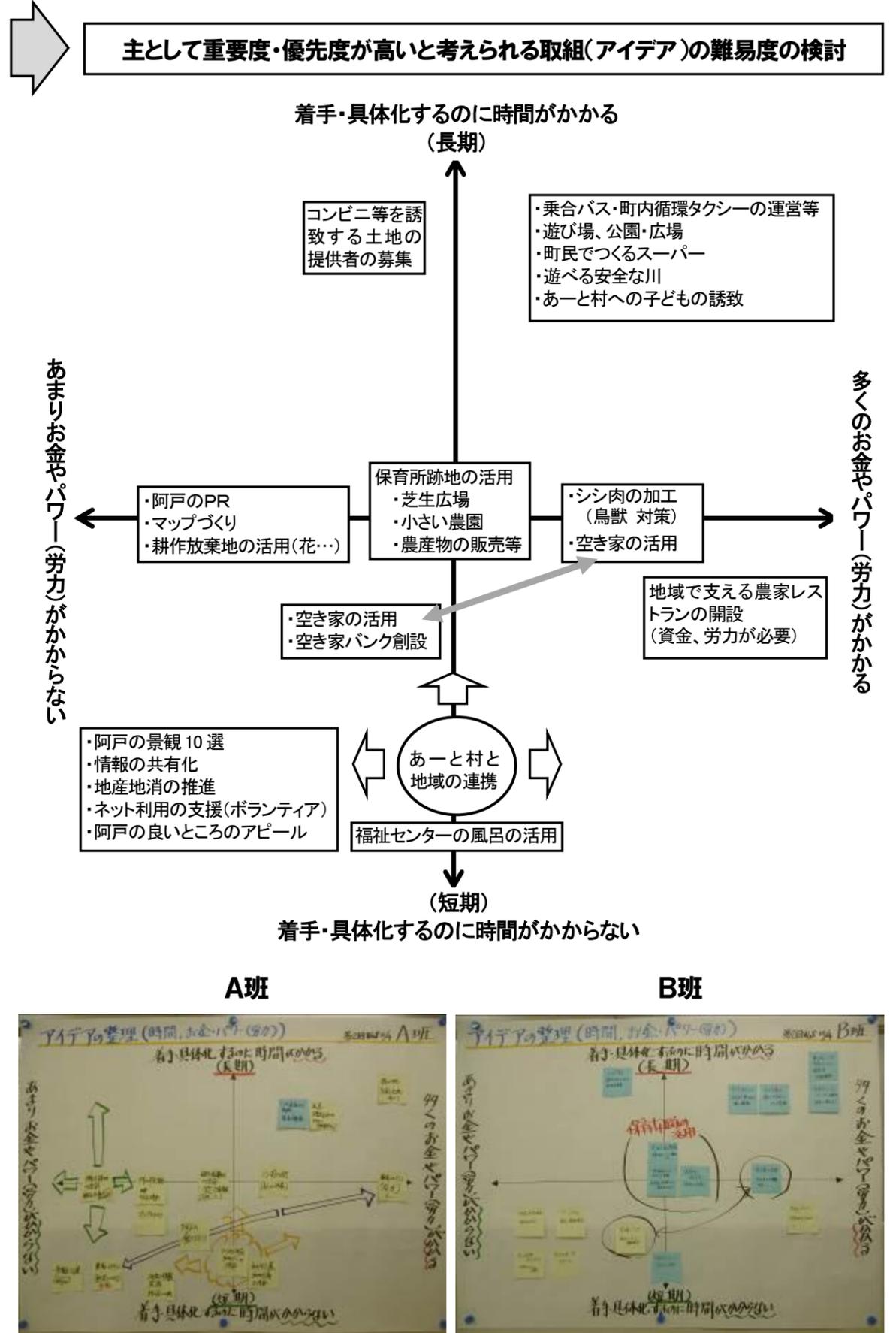
- 主要地点までのバスの学生、町民無料化（地域で運行資金の確保）
- 乗り合いタクシー（みんなで負担する）：町内循環・主要地点までの輸送
- 町民でつくるスーパー・コンビニ：土地の提供者の募集
- 医療・福祉の充実と誘致（スポーツ医学、リハビリなど）
- 身近で働ける場の確保
- 阿戸の地域営業部の創設（経営的感覚でのまちづくり）、阿戸マナーを稼ぐ工夫
- 地域通貨の活用 など



■その他

- ワークショップが終わっても、課題検討などができる組織づくり
- 地域における情報共有、会合等でのトークン、声のかけあい
- 教育（スポーツ、芸術、音楽など）に取り組む（強化） など

主として重要度・優先度が高いと考えられる取組(アイデア)の難易度の検討



A班

B班

